

大 塚 人

福岡大学附属大濠高等学校同窓会会報

<発行所>

福岡大学附属 大濠高等学校同窓会
〒810-0044 福岡市中央区六本松1丁目12番1号
同窓会事務局/TEL-FAX 092-714-1681

発行人 安藤文六

編集人 平島文憲

<印刷> 福岡綜合印刷株式会社

母校と共に発展を



大濠高等学校
同窓会会長
安藤文六

同窓会会員の皆さん、お元気ですか。同窓会会員も三万余名の大規模所帯となりました。会員数が増えるとともに、世代間の交流が少なくなり、全体的な繋がりが薄くなってきているように感じます。

最近、大濠は元気が無いという声を耳にします。運動クラブが全国大会へ出場する機会が少なくなり、同窓生も、応援で頑張れなくなったためでしょうか。全国大会へ出場するクラブは、以前に比べれば少なくなりましたが、各クラブを見るとよく頑張っています。全国大会へも一歩、というクラブがたくさんあります。

同窓会総会への参加者は、ここ数年間横ばい状態が続いています。たくさんの方が、総会へ参加して欲しいと思います。理事会でも、このことが話題になり、総会の開催日、アトラクション、開催場所などについて検討を重ねております。

支部活動につきましては、いずれの支部も熱心に活動しております。支部によっては家族ぐるみで活動を展開しているところもあります。支部活動の悩みは、参加者数が増えたり減ったりとあると考えます。

近年、少子化社会、情報化社会が叫ばれ、社会構造が急激に変化しています。情報の発達により、社会生活は勿論のこと仕事面でも大きく変化しています。このような状況のもとで、同窓会もまた、時代に即した活動を始めたいと思います。従来の会報発行と共にパソコンによるホームページの開設を準備しております。同窓会で行われていること、母校の状況などを素早く会員の皆様へお知らせします。また、会員の消息なども同窓会室へご連絡下さい。会報のバックナンバーも、閲覧出来るようになります。将来的には同窓生が所属する企業案内なども行い、卒業生が就職活動に利用出来るようなネットワークを作っていきたいと思っております。

最後に、同窓会組織の充実を図るために、三回生の光安辰次郎氏と十五回生の高木忠博氏を副会長候補として、平成十一年十一月十七日の理事会にはかり、推薦していただきました。これからは、組織も充実し会員の親睦と母校の発展のために努力してまいります。会員皆様の、今後さらなるお力添えをお願い申し上げます。

二十一世紀・問われる大濠

同窓会の皆様、お久しぶりでございます。お変わりなく、それぞれの分野で活躍のことと存じます。

少子化の嵐吹きすさぶ中、受験生減が心配されてきました。十二年度の専願入試も昨年並みの応募があり、ますますでございます。特に中学校はこの学校も減っておりましたが、大濠は定員八十名に対し、五、〇名という昨年以上の応募者で、競争率も県下及び県外近郊の一貫校の中ではトップの六倍強という難関でございます。

平成八年度中高一貫教育の入学者が、十二年度は高二に進級し、来年は結果を問われることになるわけで、担任並びに教科担当の先生方は休日返上で日夜奮闘なさっていらっしゃいます。高校のスーパードイレクターも今年も答えを出さなければなりません。勿論、上位層の進学のみが本校の方針ではなく、附属高校として福岡大学志望生徒への受験指導対策の強化、西南学院大学など地元私大への合格率を高める指導を徹底していくことが、大濠全体のレベルアップにつながるのではないかと思います。

今ひとつ、我々教師として常に留意すべきことは、生徒との対話を多く持ち、悩んでいる生徒が居ればその立場に立って耳を傾け、心のケアに取り組み姿勢が大切だということです。知的水準を高めることに終始し、心の教育がないがしろにされるようでは、真の教育が施されたとはいえません。今私ども教師が心すべき問題ではないかと思っております。

私どもは大濠学園再構築のために創設当時の初心にかえり、三万余名名の同窓会の諸兄と緊密な連携をとり、相携えて進むことが今後一層大事になることと思っております。その意味でも十二年度より校長として就任されます青木重夫先生は、本校の御卒業でもあられ、また、本校出身の校長誕生が待ち望まれてもいましたことだけに、今回の御就任は誠に慶ばしい限りでございます。同窓会としても是非、青木先生を支援していただきますよう心からお願い申し上げます。

私の四年の任期中、皆様のお世話にあずかり乍らお役にも立てず、三月末をもって退職することになりました。これまで御指導いただきましたことに、対し、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

最後になりましたが、同窓会の益々の御発展と諸兄の御健康と御活躍をお祈り申し上げます。



名誉会長(校長)
近藤達男